

期日前投票の立会人を務める橋本  
さん(左)と加藤さん=27日、坂井  
市多目的研修集会施設



# 女子学生が立会人

H22.6.28  
福井

## 坂井・期日前投票意義を実感

県内の女子学生2人が27日、坂井市で参院選期日前投票の投票立会人を務めた。厳重な管理の下で行われている選挙事務などを肌で感じ、投票することの意義を確かめていた。

立会人を務めたのは、いずれも福井市在住で、仁愛大2年の加藤映美さん(20)と、県立大3年で県明るい選挙推進青年活動隊メンバーの橋本美咲さん(20)。

2人は坂井市の多目的研修集会施設に設けられた投票所で「投票立会人」の腕章を着け、まず投票箱の鍵の封印を確かめ、鍵が解除されるのを見守った。

立会人は午前8時半から午後8時の受付時間中は、食事やトイレ休憩以外は投票所から離れることができず、時折訪れ投票する人たちの立ち会いを務めた。

受け付け終了後は再度鍵を封印、2人は封筒に割り印を押し役目を終えた。

2人は今回の参院選で初めて選挙権を行使できる。役目を終え「投票所の空気や投票の仕組みがよく分かった。友人には選挙は面倒という人もいるけれど、期日前投票の制度があることを知らせた」と話していた。